

# 東京栄養サミット2021 民間企業のコミットメント 作成に向けた取組み紹介

令和3年 3月1日  
食品産業中央協議会  
宮本 雅宏

# 分科会発足の経緯

## 各企業の状況

- ▶ 過去の栄養サミットで日本の民間企業がコミットメントを発表したのは1社のみであり、ほとんどの企業が初めて。
- ▶ どのようにコミットメントを作成すればいいのかわからない。
- ▶ SMARTとは？国際的な評価指標は？スケジュール感は？



## 分科会発足の目的

- ▶ コミットメントを検討している企業が、自社のテーマに合った分科会に参加し、情報収集・考え方の統一をおこなう。
- ▶ 各社独自のコミットメントを作成する際、考え方や方向性がまとまっていれば、作成を行いやすく、また、日本企業の考え方を明確に伝えることができる。

# 企業コミットメント作成に向けた 7つの分科会

- ▶ 国際的な食品産業の団体の集まりであるBCGがまとめた7つのコミットメントエリアを整理し、日本の企業がコミットメントを検討しやすくするため7つの分科会が発足。

1. 日本食、食事バランス、食材の多様性
2. 減塩への取組
3. たんぱく質摂取推進
4. 栄養評価の仕組みと栄養表示、栄養プロファイリング
5. 健康経営と職場の栄養改善
6. 緊急時における衛生と栄養
7. リテールによる栄養改善事業

# 分科会の活動内容

## 参加メンバー

- ▶ コミットメント発表検討企業さま
- ▶ 農林水産省さま
- ▶ N J P P P さま
- ▶ かいはずマネジメント・コンサルタントさま



## 活動内容

- ▶ 場所 Web会議（新型コロナウイルス感染症拡大防止）
- ▶ 頻度 1～3ヶ月に1回
- ▶ 内容
  - ・テーマに沿った国際的情報や指標の共有
  - ・講師による講演と質疑応答
  - ・各社のコミットメント作成の進捗状況共有

# 具体的検討内容

## 戦略的かつ達成可能な目標値をどう設定すればよいか？

- ▶ 優先事項は何か？参加原則との整合性は？SDGsとの関係は？

## その目標は世界的に見て評価されうるものなのか？

- ▶ 世界的な指標や動向に反した提案では、賛同を得られないのでは？

## その目標は、個社の努力だけでは達成できないのではないか？

- ▶ 海外を含めたフードサプライチェーン全体の取組など。

## 説明責任、エビデンスをどのように提示すればよいか？

- ▶ 具体的な数値に落とし込む際、根拠となるデータが必要。

## コンパクト（成果文書）への提言

- ▶ 分科会の統一した考え方を、コンパクトへ提言。



# コミットメント作成のポイント

## 考え方

- ▶ コミットメントは東京栄養サミットのためだけに、新たに作成するものではない。
- ▶ コミットメントは企業の経営計画とリンクした内容とし、現在掲げている目標とコミットメントの目標が一致するべき。
- ▶ 東京栄養サミットは、経営計画の一部を発表する場として考える。

## SMARTに沿った内容

具体的 (specific)、測定可能 (measurable)、達成可能 (achievable)、適切 (relevant)、期限付き (time-bound)

コミットメント登録フォームにSMART項目内容の記入欄があり、記載しなければ次のページに進むことができない。(必須事項)

# 社内コンセンサスが重要

## コミットメントの活用

- ▶ 中期経営計画など、企業が中長期的に掲げている内容を、世界に向けてアピールするチャンス。
- ▶ 企業のビジョ的なことを、東京栄養サミットで示すことにより、社員の行動ベクトルの統一やモチベーションアップにつながる。

## 社内コンセンサス

- ▶ 経営企画を担当している部署が中心となると、まとめやすい。
- ▶ コミットメント作成プロジェクトチーム結成が望ましい。
- ▶ コミットメントすることによるメリットとデメリットを整理。
- ▶ 関係部署に納得いただけるまで繰り返し説明。
- ▶ 取締役会等での決議が必要。

# コミットメント作成に必要な情報

## 東京栄養サミットとは何か？

- ▶ 経営層に対し、「東京栄養サミット」を理解していただける資料。

## 自社の中期経営計画（現行期、次期）

- ▶ 現在、自社が掲げている中長期的経営計画、10年先のビジョンなど。

## ブレイクダウンされた社内目標値

- ▶ 各事業部のKPI値と連動し、全社の取組みとする。

## エビデンスとなる客観的なデータ、指標

- ▶ 自社が提示する目標の前提となる客観的データ、世界的指標。

## 政府の動き、世界の動き

- ▶ 農林水産省 みどりの食料システム戦略。
- ▶ 国連食料システムサミット。（9月にニューヨークで開催予定）



# コミットメント作成に関する補足

## スケジュール感（3月決算の企業の場合）

- ▶ 年度内にコミットメント案を固めたい。
- ▶ 株主総会までにコミットメント内容の決議を得たい。
- ▶ 7月開催予定のプレ東京栄養サミットで概要を発表したい。

## 他社や関係団体、省庁とのつながりを広げる

- ▶ 自社内だけで進めてもコミットメント作成は難しいため、社外と連携する機会が増える。
- ▶ 行き詰ったら、メールやWeb会議で他社などに相談してみる。

## 使命感を持って取り組む

- ▶ SDGsの目標達成、企業の社会的貢献、日本を世界にアピールなどの業務に携わっているという気持ち。